



大圧協新聞

大阪生コンクリート圧送協同組合
〒552-0007
大阪市港区弁天1-6-8 オレンジビル2F
(TEL) 06-6599-5530 (FAX) 06-6599-5537
(Email) daiatsukyou@h7.dion.ne.jp
(URL) http://www.h2.dion.ne.jp/~daiatsu/

コンクリート圧送基幹技能者 制度が発足します！

全国コンクリート圧送事業団体連合会（全圧連）は、受講・受験資格「コンクリート圧送業務経験が10年以上」「コンクリート圧送施工技能士1級」「職長教育終了」を満たした圧送従事者に、新たな上級資格として「コンクリート圧送基幹技能者」の資格を制定し、第1回認定講習・試験を本年8月21日～24日に実施する。結果発表は同年10月31日。

〈基幹技能者の役割〉

国土交通省は、平成7年「建設産業政策大綱」（基本目標）技術と技能に優れた人材が生産性を高める産業づくりを、同8年に「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を策定した。各専門工業団体において、平成16年3月末現在で13職種19団体の機械土木・建築板金・鉄筋・型枠基幹技能者等々が基幹技能者に係る民間資格を整備している。こ

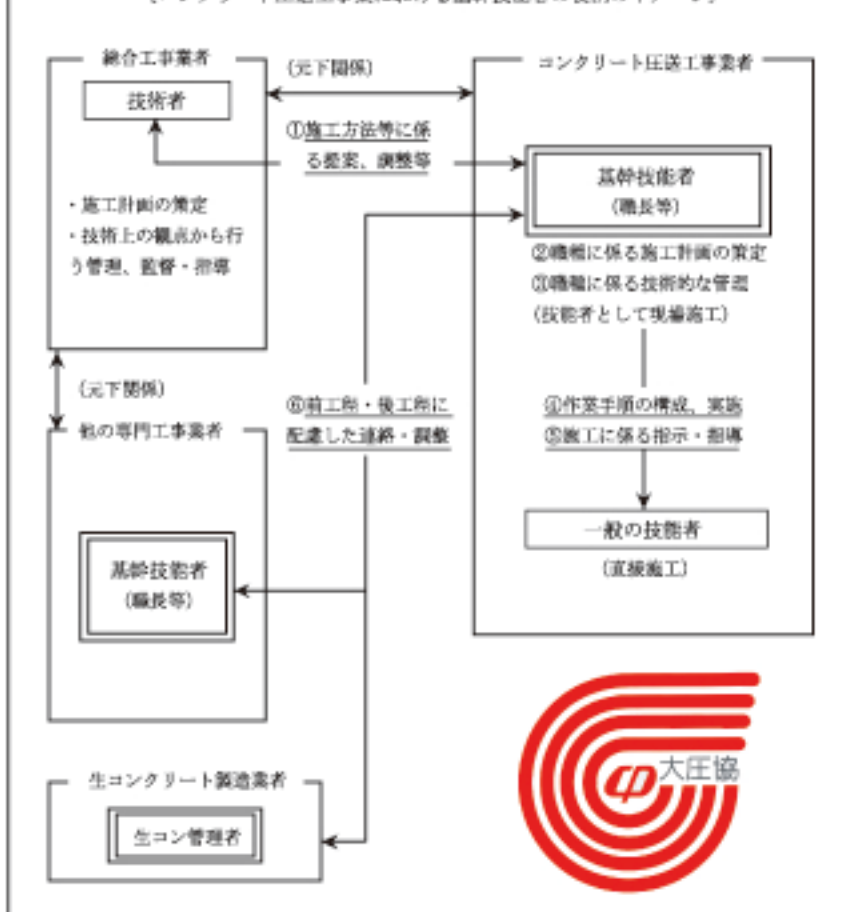
れにコンクリート圧送業務に加わることになる。建設現場では、施工の実情に熟達した技能者が、実態に応じた施工方法を技術者に提案・調整し、現場の技能者に対しては適切な指揮・統率を行っていくことが重要。こうした役割を担うのが基幹技能者である。

〈圧送基幹技能者とは〉

コンクリート圧送工事では、前工程である生コン製造業者、後工程の躯体・土工業者など関連職種との

の緊密な連携が必要。また、新しい建設生産システムのの変化に対応するためには、設計者や元請技術者の要求するノウハウを吸収し、多様な専門技術を利用して生産性向上と現場の施工管理に関与できる能力も求められている。従来は体験的訓練による技能修得が優先されてきた。しかし、これからはそうした「技能」だけではなく、「施工方法」や「関連職種との調整」に関与できる人材の育成が急務である。この人材がコンクリート圧送基幹技能者であり、幅広い専門知識、優れた指導力、現場管理能力・調整能力を期待される。具体的には、圧送施工計画の策定、圧送工事中の連携、生コン工場や土工業者との連携、安全施工管理、圧送工事中の不測の事態に対する迅速適切な対応、環境保護対策への配慮が求められる。

〔コンクリート圧送工事における基幹技能者の役割のイメージ〕



大圧協声明

〔深い反省と再生への決意〕

7月6日、コンクリート圧送施工技能士の検定試験問題を漏洩したとして、警視庁は私たちの中央組織である全圧連の会長・前技術委員長ら3名を職業能力開発促進法（秘密保持義務）違反容疑で逮捕した。

衝撃的な事件である。被疑事実についての解明は今後追って明らかになるであろう。無実を願うものである。しかし、こうした事態の背景に、試験制度を「ゼネコンからの発注を受けるには、各社に一人でも多くの技能士が在籍していた方が有利」と考え利用する空気があったとしたら、私たち圧送業界は末期的である。

全圧連の「圧送マニュアル」にある通り、昭和40年前後に登場したコンクリートポンプ工法は、生産性の向上に寄与し、社会資本整備に大きな貢献を果たした。コンクリート圧送工事業は、今や建設産業に欠くことのできない重要な役割を担う専門工事業と位置づけられている。その重要な社会的責任を果たす上で不可欠なのが、技術力・安全施工能力の向上であり、より多くの技術者の養成である。そのための試験制度である。

「圧送業界の経営環境が厳しいから」とは言いつまい。ゼネコンやエンドユーザーである消費者の皆様に対し「安全で安心なコンクリート構造物」を提供するのは、私たち圧送経営者・労働者の社会的責任であり誇りである。同時に、現場で働く者すべての安全を守り続ける使命感を取り戻そう。私たちは初心に帰ろう！

最後に、逮捕された3名は取り調べに協力的と聞く。また、高齢かつ病弱でもある。一日も早い保釈を要請するものである。

第2回 圧送技術研究会

2005.7.23(土) 午後1:00~5:30

生コンクリートの性能とポンプ圧送性について

コンクリート構造物の仕様やコンクリート用材料の変化、高強度・高流動生コンの多用など、コンクリートの施工性やポンプ圧送性が大きく影響を受けている。また、責任施工の観点から各種(設計・セネコン・生コン製造・圧送業・土工業等)の連携が取りにくい実態がある。コンクリートの圧送現場では、品質管理・安全施工の観点から横断的な議論とスキルアップ

研究会後、日本建築学会近畿支部材料施工部会内にポンプ工法ワークショップ・グループが作られた。研究目的は、圧送負荷計

算の基礎となる「水平管1mあたりの管内圧力損失(K値(過去のデータからの析出)の見直し、現場における圧送性の簡易測定法の開発などをめざしている。具体的に、大圧協の委託を受けて、高強度生コン(最高70N)のポンプ圧送性の実施工下でのデータ取り(大阪市港区弁天町200m高層ビルの現場・鹿島建設㈱)や生コンの性状の違いによるポンプ圧送性についてのフィールド実験(勝沼沼組技術研究所)を実施してきた。今回、こうした研究結果の発表も含め、第2回圧送技術研究会(材料施工部会・大圧協共催)を開催する運びとなった。主催者の参加見直しは300名である。

また、高層ビルの再度の実施工下でのデータ取り、再度のフィールド実験(生コンの調査の組合せを変え、1000m・2000mの水平配管に延長)を実施する予定。多くのデータ収集に努めていく。

〈昨年の第一歩〉



を図りたいという強い要望があった。そのため、昨年7月10日、全国に呼びかけた第1回圧送技術研究会「コンクリート圧送の技術の現状と課題」(大阪生コンクリート圧送協同組合主催・256名参加)が開催され、大きな反響を呼んだ。

〈継続した取り組み〉

また、高層ビルの再度の実施工下でのデータ取り、再度のフィールド実験(生コンの調査の組合せを変え、1000m・2000mの水平配管に延長)を実施する予定。多くのデータ収集に努めていく。

第2回 圧送技術研究会

- 生コンクリートの性能とポンプ圧送性について -

2005年7月23日(土) 午後1:00~5:30

会場 大阪工業大学 創立60周年記念館 記念講堂

□主催者挨拶

吉田 伸 (大阪生コンクリート圧送協同組合理事長)

□基調講演Ⅰ

「生コンの品質とポンプ圧送性について」

和美 廣喜 (鳥根大学総合理工学部教授)

□基調講演Ⅱ

「コンクリートポンプの現状と今後の動向について」

稲田 善明 (社団法人日本建設機械工業会
コンクリートポンプ部会)

□研究報告

「ポンプ圧送実験及び高強度コンクリートの実施工における生コンクリートの性状と圧送性について」

岩清水 隆 (株式会社竹中工務店)
木村 芳幹 ((財)日本建築総合試験所)
山崎 順二 (株式会社浅沼組)
千々岩 伸佐久 (極東開発工業株式会社)

□パネルディスカッション

コーディネーター 木村 芳幹 (前掲)
パネリスト 二村 誠二 (大阪工業大学)
和美 廣喜 (前掲)
岩清水 隆 (前掲)
山崎 順二 (前掲)
吉見 正 ((社)全圧連)
千々岩 伸佐久 (前掲)
片岡 宏治 (大阪兵庫生コンクリート工業組合)
安田 徹 (ブライスタージャパン(株))
村田 隆男 ((株)フローリック)

□閉会挨拶

二村 誠二 ((社)日本建築学会近畿支部材料施工部会主査)

参加費: 1000円 (資料代含む)

共催 社団法人 日本建築学会近畿支部材料施工部会
大阪生コンクリート圧送協同組合

連絡先 〒552-0007 大阪市港区弁天1-6-8 オレンジビル2F
TEL.06-6599-5530 FAX.06-6599-5537

後援 社団法人 大阪建設業協会
全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部
財団法人 日本建築総合試験所
コンクリート用化学混和材協会
社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会
社団法人 日本建設機械工業会

アクセス

- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから大阪市営バス(34系統守口車庫行)で約25分「中宮(大阪工大前)」下車すぐ
- 大阪市営地下鉄谷町線「千林大宮」駅(2号出口から徒歩約10分)
- 京阪本線「千林」駅から徒歩約15分



ポンプ車の点検強化

全国で、圧送工事中のコンクリートポンプ車の事故事例が数多く報告されるようになってきた。幾つかの要因が重なっているのだが、大圧協はこの問題に対して、ゼネコンや機械メーカー、全圧連等との協議で構造的に解決していく対応策と、自助努力による点検強化の取組で安全を確保していく早急な対策とに分けて対応する。早急な対策として、一つは、大圧協のすべてのブーム車輛(313台)を超音波探傷検査すること。二つ目は、コンクリート輸送管の肉厚(管の厚さ)を測定できる超音波厚さ計を全社整備すること。三つ目は、大圧協で統一した書式のコンクリートポンプ車作業開始前点検表を作成、全社に配布し徹底化をはかる。

労働災害防止の通達

すでに平成15年、コンクリートポンプ車による労働災害が多発し、特にブームの折損事故による重大災害が発生し、厚生労働省労働基準局より全圧連会長宛に労働災害防止についての通達が出されている。要旨は「1. 現在保有しているコンクリートポンプ車について、ブームの亀裂の有無を調べ、異常を認めるときは補修等の措置を講ずること。2. 労働安全衛生

規則に基づく定期自主検査及び特定自主検査を確実に実施すること。3. 規則に基づく定期自主検査の際には、ブーム装置溶接部等の亀裂の有無を調べ、亀裂が疑わしい場合は探傷器等で調べること。6. コンクリートポンプ車を用いて作業を行うときは、労働安全衛生規則に基づき、当該コンクリートポンプ車についてその構造上定められた安定度、最大使用荷重、ブーム先端ホース長等を守ること(他の号は別愛)。また同年、日本建設機械工業会は特定自

主検査を補完する「コンクリートポンプ車整備確認制度」をスタートさせた。

事故原因の数々

事故の原因について、①圧送計画(現場側・生コン製造業者・圧送業者による機種の選定・ポンプ設置場所・配管経路・生コンの供給など)の事前の調整・計画がないか

不十分、②不安全作業の横行、③コンクリートポンプ車の安全マニュアル(労働安全衛生規則等々)

が守られていないか不徹底、④機械や施工者側が現在の高強度・高流動生コンの多用や骨材事情の変化などに対応できていない、⑤ポンプ車輛の老朽化等々があげられる。それぞれゼネコン・メーカー・圧送業者の責任領域がある。また、問題の背景には、圧送工事代金がコンプライアンス・安全施工・技術的対応コストを含んだ適正料金と云えない実態がある。事故原因を取り除く対策に展望を持って取り組む。

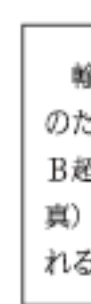
8月からブーム車のポンプ車溶接部の超音波検査による溶接部割れ検査(ブーム溶接部・旋回ボルト部・アウトリガー部)を始める。但し、新車は3年間適用外とする。発見された不良箇所はメーカーの指示で修理する(指定工場)。報告書と証明書を発行する。尚、対象車輛すべてとなると、検査や修理時間(1ヵ月30~40台として)半年以上かかる。当面、8トン以上の大型を優先させる。また、輸送管の肉厚測定のための超音波厚さ計(AD-3253B)については、9月までに全社配布される。現場では所要圧方に耐えられない輸送管が選定されているが、磨耗したり損傷しているのは破裂や生コンの飛散により大きな事故につながる。超音波厚さ計による点検を恒常化させる。ポンプ車の始業前点検の日常化も統一書類で8月より進めていく。

大圧協はポンプ車輛の点検強化に取り組む。今後、共同受注事業を展開している責任から言っても、安全対策を個社のみには任せない。具体的には、

大圧協は安全対策に全力で取り組みます!

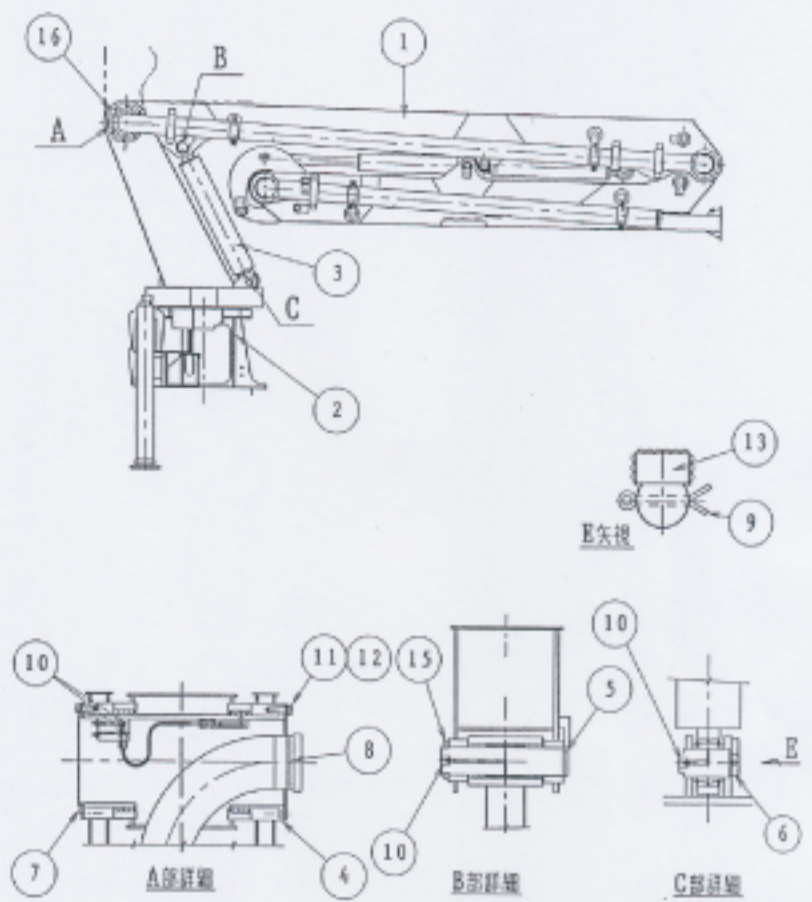
超音波探傷検査等の実施

輸送管の肉厚測定のためAD-3253B超音波厚さ計(写真)は全社に配布される。



加盟社一覧

- ㈱アート産業 ㈱板倉工業 ㈱イッケン商事 ㈱エスティ
- 大古組圧送 ㈱笠井産業 ㈱亀田組 ㈱北大阪テック
- ㈱北原ポンプサービス 近圧ポンプ機 小芝工業 ㈱小西組
- ㈱三耕 ㈱下成興業 ㈱清風 ㈱泉北 ㈱泉和圧送
- 相互通商㈱ 高江洲ポンプ 寺西興業 東和建設㈱
- 共栄ポンプ ㈱ナカガイチ ナガノポンプ 西政産業
- 阪南ポンプ機 ㈱ヒットセンボク 北摂圧送 本田ポンプサービス
- ㈱松下ポンプ ㈱松本圧送 丸義興業 ㈱未来商事
- 村瀬産業㈱ ㈱ヤシマ産業 八東工業 ㈱大和
- 山村工業㈱ ㈱吉川興業 ㈱ワイエヌ工業 和田ポンプ
- (賛助会員) 旭光コンクリート工業 川商ポンプ 白川圧送 東翔圧送 誠興業



平泰服部作家新進者にして送業圧

私たちは応援します

ある時はコンクリート圧送工事で先端ホースをかつぎ、ある時はラブストーリーやミステリーを書き上げる、しかしてその正体は吉川興業の服部泰平さん。昭和53年生まれの27歳。追手門学院大学卒。22歳「切手のない手紙」でデビュー、25歳「誘拐の長い午後」で文芸社U-30大賞受賞。今年は「ずっと逢いたかった。」で売り出し中。ブレイク間近な服部泰平さんにインタビューした。



服部 泰平氏

増田 作家を目指すとうとしたきつかけとか動機は？
 服部 もともと、授業の中で文章を書くのが面白いことだなというのが心の中にあったのと、物語的なものを創るっていうことをしたかった。大学4年生の時に書き上げた小説、「ずっと逢いたかった」の原型になった「切手のない手紙」を自費出版した。

増田 それが22歳でデビューされたというところ？
 服部 そう。作者が本は作るけど、版元が流通はしますよっていう形態でデビューとなった。その後、版元さんとの関係がちょっとでき、書かせて頂いた。それがまあ、漫画家の江川達也先生の目に止まり、大賞を頂いた。それが実質的には商業出版という形の最初。

増田 それが「誘拐の長い午後」？
 服部 はい。その後、割と評判が良かったので、どう

や、ちょっと本格的にやらないか？という話があった。版元さんから新しいことをして行こうとコンテンツファンドっていうのを始めた。コンテンツファンドとは、本の売上を担保として銀行からお金を借りる。売上を担保にしたら売上がいやがおうでもあげないといけない。出版界で初めて立ち上げ、その第2弾に選ばれた。マーケティング屋さんにも協力いただき、今、どういふ小説が受けるかという様な市場調査もした結果、色々書き直していった今回の作品「ずっと逢いたかった」になった。

増田 大学を卒業されてからポンプ業された？
 服部 僕はもう高校くらいからバイト代わりでずっとしてた。一番気楽な業種です。

増田 ヘネーそうですか？
 服部 ただ、フルタイムで働く中々小説を書く時間を取れないので、実家もそうだし、慣れてるし、そのまま会社へ。従業員・両親の理解があり、わりと時間を作るように配慮頂いたり、楽な仕事に振り分けてもらったり、しんどかったら応援を頂いたり、非常にありがたい。今作家を目指すに当たって、メンを食っていかなくてと言えは、何か就職してしまおうというよりは有利だったし、やっぱりちょっといい時から見ると愛着もありました。

増田 見てたらおとなしそうな感じじゃないですか？
 服部 ポンプ業っていろいろとちらかといえは気の荒い現場でしょ。別に違和感というかトラブルは無い。

服部 まあ、気のしれたところをやっているし。うーん、評いてますけどね。(笑)

増田 なるほど。でもかなり力仕事でしょ？
 服部 ああ、簡先なんか持たれる。

服部 持ちますね。あんまり誇るほど上手くはないんですけど言えないけど、まあ一通りは。

増田 配管とか持つて？
 服部 やることもある。

増田 作家の収入は少ない？
 服部 まだ食べていくには全然という感じ。ポンプ業も厳しいけど作家、出版業界も厳しいぞって感じで。

増田 「ずっと逢いたかった」を読ませて頂いて、縦軸として戦争を媒介として主人公の鳴海勝一さんと雪子さんの死んでしまっけどずっと続く絆と、横軸で義純さんの家族が崩壊して、それが勝一と雪子の絆を通して再生していく物語という感じや、歴史と現代の世相を的確に表現した感じを受けた。

服部 もともと、祖父が戦争でいい思い出が無く、ちょっと、人生がおかしな人って、祖父が死んだ時期が僕の反抗期の一環で、只中で、割と反抗ばかりして、何か償いをしなければと思って書いたのが「切手のない手紙」だった。償いっていうと大げさだけど、戦争の事をもっと多くの人に伝えていくっていうのも一つの罪滅ぼしかな。

増田 現代の人間は自分は何のために生きているか、社会とのつながりが希薄になってもがく。でもなかなか現実をつかめない焦燥感。そこで死んでという問題が、作中で自殺という形で出る。あるいは「誘拐の長い午後」の方は、主人公の先輩の刑事の奥さんが自殺する。現代の希薄感と死って言うのは服部さんにとって何か響くものがある？

服部 若い時って言うのは死から一番遠い距離にある段階ではあるけど、観念的には割と死んでいうものが近いところにある。最近ネットが集まって自殺したり、ある種精神面では死が近いみたいなところがある。死って言うのを、冷静かつ描写として捉える時期なのかというのがあるって、割と死を作品に取り入れる。インターネット上の繋がりで一緒に死ぬ、そこから現代が見れるんじゃないかというところは僕の中にある。

増田 「誘拐の長い午後」で、ハードボイルドタッチというか、女の刑事さんが出てきてトリックも面白いが、その基底にある乾いた感じが読んでて引き込まれる。

服部 ありがとうございませう。割と僕はハードボイルドタッチっていうのが筆に合っているというのもあるし、若い時そういうのを冷静に見ちゃってるところがある。

増田 ミステリーのトリックとか日頃考えて？
 服部 ポンプとかかべとかしてると、ミキサー車来ない暇な時がある。考えることがないなあと言つ時にはトリックとか考えてますよ。ミキサー車着いて「あー」とか言つて。割と現場で

死から一番遠い距離にある。でもあんまり人殺す事ばかり考えてたらそれはそれで危険かな。(笑)

増田 なるほど。ところで、勉強しているなってところが結構あるけど。

服部 元々調べ好きっていうのもあって、苦になつてない。小説って後々の努力でどうしようもないことがいっぱいあって、例えば文章力っていうのもそう簡単には上がるもんじゃないし、発想なんか上がるもんじゃない。でも調べるのは一番努力が表れるところだし。読者さんへの誠意かな。

増田 細部に真実が宿るって訳じゃないですが細かい所を丹念に調べないとリアリティでないですね。

服部 大げさな言つてでもないけど、一書くには後ろに十ない。後ろに背景があり、支えている知識がある所まで調べないといけないです。

増田 最後、日本もたんだんと曲がり角に来てます。「戦争」ってことについてはどうお考えですか？

服部 うそくさいなとか言われても、現実味がないなと言われても、言つてたら済むのわかって言われても、平和に、平和国家でいまましようよっていう態度だけはあけないで。旗を掲げてたから掲げてたのりの広がりが出てくるし。この青くさい旗でも掲げましようよという気分ですかね。

服部 泰平さんの本



「誘拐の長い午後」

単行本 (2003/10) 文芸社

価格 ¥1,470-



「ずっと逢いたかった。」

単行本 (2005/03) 文芸社

価格 ¥1,365-

は空想に飛んでるときがある。でもあんまり人殺す事ばかり考えてたらそれはそれで危険かな。(笑)

増田 なるほど。ところで、勉強しているなってところが結構あるけど。

服部 元々調べ好きっていうのもあって、苦になつてない。小説って後々の努力でどうしようもないことがいっぱいあって、例えば文章力っていうのもそう簡単には上がるもんじゃないし、発想なんか上がるもんじゃない。でも調べるのは一番努力が表れるところだし。読者さんへの誠意かな。

増田 細部に真実が宿るって訳じゃないですが細かい所を丹念に調べないとリアリティでないですね。

服部 大げさな言つてでもないけど、一書くには後ろに十ない。後ろに背景があり、支えている知識がある所まで調べないといけないです。

増田 最後、日本もたんだんと曲がり角に来てます。「戦争」ってことについてはどうお考えですか？

服部 うそくさいなとか言われても、現実味がないなと言われても、言つてたら済むのわかって言われても、平和に、平和国家でいまましようよっていう態度だけはあけないで。旗を掲げてたから掲げてたのりの広がりが出てくるし。この青くさい旗でも掲げましようよという気分ですかね。